歯科研究会(1日コース)

成功するための秘訣を伝授！

# 成功率95%リンゴ丸かじり 全部床義歯最前線

## 実技コースから得た初心者への提言

講師

**今井守夫 先生**

(ぐみょう今井歯科医院院長)


総義歯に関する著者文献

1) 今井守夫：上顎全部床義歯の動揺に関する研究 第2報 機能時の義歯の動揺と関連する因子の分析. 補綴誌. 32：936-946, 1988.
2) 今井守夫：下顎総義歯の維持・安定にこだわる“すっぽんデンチャー”(1). 歯科医療 2011 年秋号, 25(4)：79-93, 第一歯科出版, 東京, 2011.
3) 今井守夫：下顎総義歯の維持・安定にこだわる“すっぽんデンチャー”(2). 歯科医療 2012 年冬号, 26(1):116-131, 第一歯科出版, 東京, 2012.
4) 今井守夫：保険診療で作製できる吸着する総義歯“すっぽんデンチャー”の臨床. デンタルダイヤモンド 2013 年 3 月号, 38(550)：133-144, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2013.
5) 今井守夫：保険診療にも対応したリンゴ丸かじりを可能にする全部床義歯 “今井式すっぽんデンチャー”～究極の安定義歯作製法～. 歯科医療 2018 年春号, 32(2):25-37, 第一歯科出版, 東京, 2018.


講師略歴

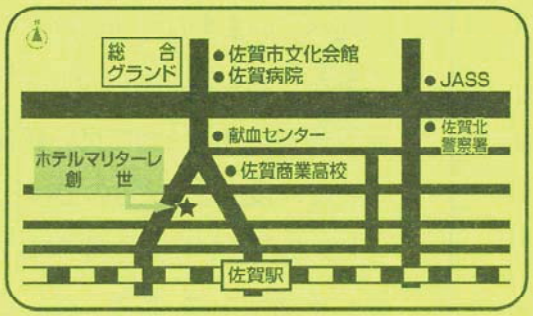
1984年 徳島大学歯学部 卒業
1988年 徳島大学歯学部大学院歯学研究科修了、歯学博士
1993年 医療法人皓歯会 ぐみょう今井歯科医院理事長
2016年 松本歯科大学非常勤講師
2017年 モンゴル国立医科大学歯学部客員教授

日本補綴歯科学会専門医・指導医
日本口腔インプラント学会専門医
バイオインテグレーション学会専門医・指導医・理事
日本一般臨床医矯正研究会認定医・常任理事
日本顎咬合学会認定医
日本アンチエイジング学会認定医
スタディーグループMDSG(現代歯学研究会)主宰
介護支援専門員
厚生労働省歯科医師臨床研修指導医
日本糖尿病協会歯科医師登録医

※ 講演抄録は裏面に記載

日時 **4月14日(日)** 10:00～15:30 (昼休み12:00～13:00)

会場 **ホテルマリターレ創世** 佐賀市神野東2-5-15 TEL0952-33-5511




＊参加対象／会員の歯科医師とスタッフ
※昼食弁当を1,000円でご注文いただけます。
(弁当注文は4/11(木)締切)
※定員になり次第締め切ります。

**会員参加費無料**　※協会未入会の先生は事前に入会手続きの上ご参加ください。


HP

主催 **佐賀県保険医協会**

☎ (0952)29-1933　FAX 23-5218
E-mail: hoken-i@star.saganet.ne.jp


■FAX参加申込書　2019.4.14(日)

**FAX(0952) 23-5218**

成功率95%リンゴ丸かじり全部床義歯最前線
(実技コースから得た初心者への提言)

| | 歯科医師 | スタッフ |
|---|---|---|
| 参加人数 | 人 | 人 |

お弁当注文　個　(1個 1,000円)
※弁当注文は4月11日(木)締切です。

医療機関名

会員名

御住所

TEL(　　)　-

## 抄録

最近、テレビCMでも頻繁に目にするように、義歯安定剤市場は成長を続けていると聞きます。この事実は、裏返せば“きちんと義歯が吸着せず、満足が得られていない”と言った患者の声を反映しているのではないでしょうか。義歯安定剤使用の有無に関わらず、加齢変化に伴う顎堤吸収を考えると数年に一度の割合でリベースあるいは新義歯作製が必要になると考えられ、このような理由からも我が国の潜在的な総義歯治療のニーズは増加してゆくものと考えます。

これまでに先人達により確立された全部床義歯作製のプロセスやノウハウ、言わば“知の結晶”は数多くの教科書に記されています。しかし現実は患者個々に多種多様な解剖学的・機能的なバリエーションがあり教科書的には進まないことを経験します。全部床義歯作製には端的に表現し難いテクニックや勘所＝いわゆる匠の技、が要求される場面も少なくありません。私は、二十余年の試行錯誤を経て、一度喰らいついたら絶対に離れないと比喩される“すっぽん”をモチーフとした、確実な吸着が得られる義歯作製手法を構築し、実践してきました。前回、具体的な症例供覧を通じ“すっぽんデンチャー”の概要を述べさせて頂きましたが、これらは決して独自で構築したものではなく、あくまでも先人達の“知の結晶”に一工夫を加え体系化したものであり、どの術者でも確実かつ簡便に全部床義歯が作製できることを目的としています。

このような全部床義歯作製に関する講演・実習を始めて 7 年になりました。高齢者は増える一方、義歯で困っている先生も増える一方と感じています。全部床義歯は、材料的には目新しいものはありません。作製から装着、調整に至る“技術・技能”が成否のカギを握る、と考えています。有名無名の様々な先生が（私を含め）色々なことを述べていますので、同様の講義を受講される先生方は、ますます分からなくなっている気がします。私の個人的な意見ではありますが、歯科商業誌等で見る工芸品のような義歯が患者にとって良い義歯とは言えず、患者満足度の高い、機能を重視した義歯こそ良い義歯と言えるのではと考えています。つまり使い込んで慣れ親しんだ義歯にヒントがある気がします。そこには患者個々によって異なる、個性が反映されています。

本講演では、私のこれまでの講演活動を通じて感じたこと、など“初心者への提言”と題してお話させて頂く予定です。しかし話を聴くだけでは伝わりにくい、いわゆる勘所について実技をもって体得して頂く、実技コースの受講もお勧めいたします。講演と実技をもっての“リンゴ丸かじりができる義歯”です。この機会に体験・体感・体得して頂ければと思います。